

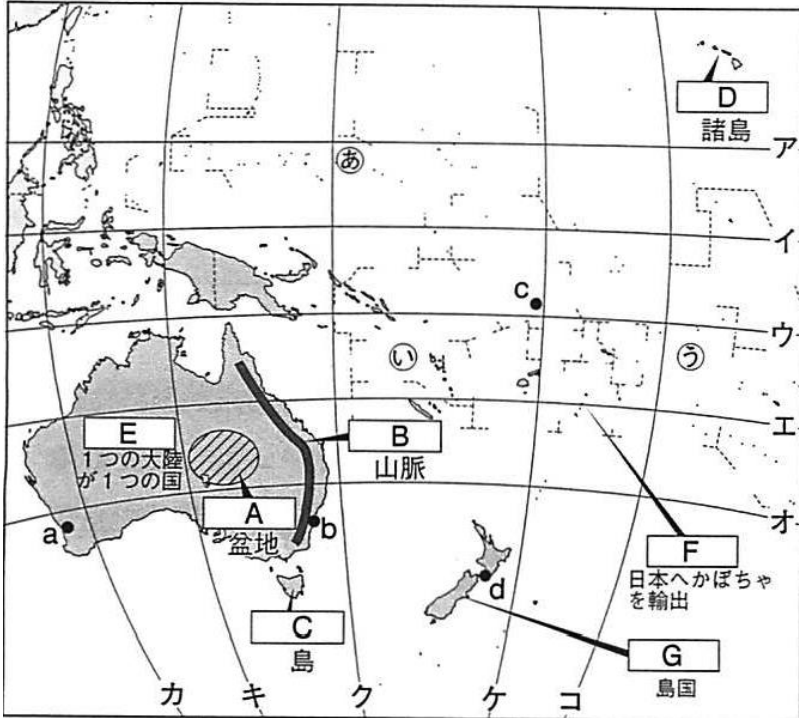
地誌 第36回「オセアニア地誌(1) 自然環境と社会・文化」

○今回のポイント

オセアニア諸国は旧英領が多い。

白豪主義をとっていたがイギリスのEC加盟で経済的結びつきが弱まり、多文化主義へ転換した。

一つの大陸と太平洋の島々

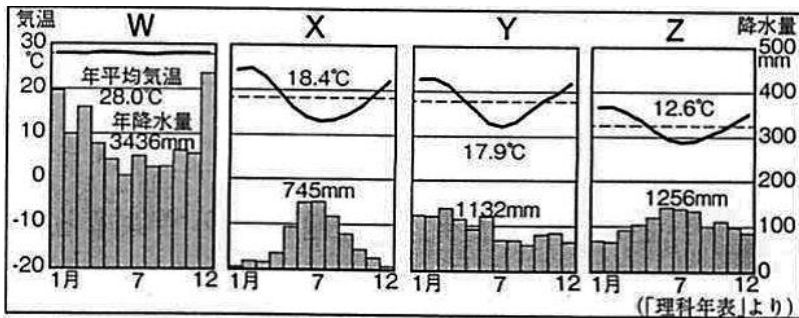


- A. グレートアーテジアン 盆地
- B. グレートディヴァイディング 山脈
- C. タスマニア 島
- D. ハワイ 諸島
- E. オーストラリア
- F. トンガ
- G. ニュージーランド

オセアニア州はオーストラリア大陸と3つの地域に区分される。

- あ. ミクロネシア
- い. メラネシア
- う. ポリネシア

左図のW~Zの雨温図は、パース、ウェリントン、フナフティ、シドニーのいずれかであり、a~cのいずれかの都市が該当する。



	都市	気候区分
W	c	熱帯雨林気候
X	a	地中海性気候
Y	b	温暖湿潤気候
Z	d	西岸海洋性気候

○オーストラリア大陸

- (1)西部…[① 安定陸塊]。鉄鉱石が採れる[② ピルバラ]地区。
- (2)東部…[③ 古期造山帯]。石炭が採れる[④ グレートディヴァイディング山脈]。温暖湿潤気候。
- (3)北東部…世界最大の珊瑚礁：[⑤ グレートバリアリーフ]。ほぼサバナ気候
- (4)南西部…絶対覚える！！[⑥ パース]は地中海性気候！！
- (5)南東部…絶対覚える！！[⑦ メルボルン]と[⑧ タスマニア島]は西岸海洋性気候！！

○ニュージーランド

- ・北島と南島に分かれ、起伏に富む地形。南島には標高3000m以上の山々。
- ・環太平洋造山帯で火山や[⑨ 地震]が多い。
- ・[⑩ 西岸海洋性気候]！！

## オセアニアの移民の歴史と多文化社会

### ヨーロッパ人の入植

- オーストラリアの先住民は[⑪ アボリジニ]。
- 1788年 オーストラリアがイギリスの[⑫ 流刑植民地]となり囚人たちが送られて開発が進む  
→シドニー(Cfa)、メルボルン(Cfb)、パース(Cs)などが発展。
- オーストラリア、ニュージーランドとともに、現在もイギリス国王(エリザベス 2 世)を君主として仰ぐ、[⑬ 英連邦王国]の一員。

### アジア系移民の増加

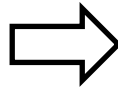
- 70年代以前…[⑭ 白豪主義]。アジア系移民の規制
- 73年、白豪主義撤廃⇒アジア系移民の増加
  - ・70年代～：ベトナム、カンボジア →[⑮ ベトナム戦争]による移民を受け入れる
  - ・80年代～：[⑯ 香港]の中国返却が決まると香港からの移民が続出(後、沈静化)
  - ・現在～：中国、フィリピン、マレーシアなど

### 多様な文化にはぐくまれた社会

- オーストラリアの人種政策

#### [⑰ 白豪主義]

20世紀初頭に掲げられた政策で、非ヨーロッパ人の移民を制限して白人優先の国家建設が進められた。73年にイギリスがECに加盟して結びつきが弱まると、白豪主義は撤廃されていく。



#### [⑱ 多文化主義]

英語以外のさまざまな言語によるテレビ放送、異文化理解のための外国語教育など、多様な文化を互いに尊重し合う社会の構築を進める政策。

### <point>

**オーストラリアは開発のために労働力が必要だったので移民を積極的に受け入れた。そして当初は白豪主義をとっていたが、イギリスとの経済的な結びつきが緩まったことにより、白豪主義を捨て多文化主義政策にシフトチェンジし、多様な地域から労働力を供給された。**

- ニュージーランドの人種政策  
↓ラグビーの国際試合の前に[⑳ ハカ]を踊る。

- [㉑ マオリ]などの伝統的な文化や言語などを保存するための取り組みが行われてきている。

